

事業報告

令和2年度 教育事業 信州高遠自然みつけ隊

令和2年10月10日(土)・11日(日)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

○子どもたちに豊かな自然体験を経験させるとともに、科学的好奇心を育ませる。

また、家族内での協働体験を通して家族の絆を深めさせる。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時		10	11	12	13	14	15	
10日(土)	9:30～10:00 受付	開会式	自然観察 (活動Ⅰ)	野外調理 (活動Ⅱ)	昼食	片付け・自由散策	閉会式	15:30～15:45 閉会式
11日(日)	10:00～ 開会式							15:45～ 解散

～参加者～

10日(土)

2家族(大人:3名、小学生:2名、幼児:1名) 計:6名

(長野県)

11日(日)

4家族(大人:5名、小学生:4名、幼児:2名) 計:11名

(長野県)

～活動トピックス～

活動Ⅰ 自然観察

講師:信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

東尾根を散策しながら、自然の家周辺に自生している「きのこ」の観察を行った。1日目は、台風の影響もあり、朝から雨天であったが、予定のコースを修正し、雨具を着て無事にきのこ観察をすることができた。2日目は、天候にも恵まれ、清々しい秋晴の中で行うことができた。

子どもたちは林の中や枯葉の下などを夢中になって探し、見つけたきのこの名前や食べられるかななどを、指導員の説明を聞きながら楽しそうに観察を行った。



活動Ⅱ 野外調理

「秋の味覚を楽しもう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

信州高遠の野外炊飯メニューにあるピザを改良して、きのこピザをつくった。きのこは、シメジやマイタケを使用し、事前に窯に入れて水分を蒸発させることにより、ピザにしたときに水っぽくならないように工夫した。

子どもたちは、ピザ生地をこねたり、野菜を切ったり、窯にピザを入れたりする体験を行うことができた。時には、野菜が硬くてうまく切れない場面や、ボウルが回転してしまい、上手にピザ生地をこねられない場面などがあったが、家族内で声を掛け合い、助け合いながら取り組む姿が印象的であった。どの参加者たちも、家族で協力して作ったピザをおいしそうに食べていた。



～参加者の声～

- 雨が降っていて天候は残念だったが、とても楽しめた。
- きのこ採りやピザづくりなど、体験活動ができて良かった。
- 安全面などさまざまな配慮をいただき、安心して参加することができた。
- 専門の方がみえるので、楽しくきのこ採りを行うことができた。

～成果と課題～

- 今年度は、日帰り行事として企画したため、プログラムが限定的ななってしまったことを心配していたが、どのご家庭も満足していただくことができた。たとえ、プログラム内容が少なくなってしまうとしても、一つひとつの内容を充実させることが非常に重要であると感じた。
- 1日目は、降水量が比較的多く、参加者の中に就学未満児もいたため、当日参加者の代表者を集めて、日程について調整する時間を設けた。そのため、参加者のニーズに沿ったプログラム展開が可能となり、アンケートでは雨天でも満足度の高い結果を得ることができた。
- 1日目については、参加者が多くなかったからこそ、雨天時の対応できめ細やかな対応ができたように思う。人数が多い場合においても、可能な限り参加者のニーズに沿うようなプログラム展開をしたり、活動が変更する場合には担当者からしっかりと理由を説明したりすることが必要であると感じた。

